



薬物動態談話会 第45年会

2022年10月26日(水)～27日(木)

創薬を加速する薬物動態研究の新たな貢献

特別講演 Small Extracellular Vesicle (sEV)-Based Liquid Biopsy in Support of PK-ADME-DDI Science: Current Progress & Future Perspective
Pfizer David Rodrigues

会長講演 非線形薬物動態解析；血中濃度推移 (po,iv) マスバランス、特異的阻害剤による臨床DDIの同時解析を可能にするCGNM
城西国際大学 杉山 雄一

シンポジウム 1：Non-CYP代謝研究の新知見と創薬での活用

基調講演 機能解析から見えてきたnon-P450酸化および還元酵素の特徴 金沢大学 深見 達基

基調講演 創薬応用を目指したNon-P450代謝酵素：フラビン含有酸素添加酵素
昭和薬科大学 清水 万紀子

一般講演 新規キナーゼ阻害剤KW-2449のNon-CYP代謝-MAO/AOの事例
協和キリン株式会社 細木 淳

一般講演 創薬研究段階におけるアルデヒドオキシダーゼ (AO) 代謝評価の重要性
第一三共株式会社 浅野 大悟

一般講演 ヒト臨床PKおよび毒性機構解明の基礎としてのNon-CYP代謝研究
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 石黒 直樹

シンポジウム 2：バイオマーカー研究の最前線：探索から活用まで

基調講演 トランスポーター介在性薬物相互作用の定量的評価：臨床研究からモデル解析まで
東京大学 楠原 洋之

基調講演 安全性バイオマーカーの探索、検証と行政的評価
国立医薬品食品衛生研究所 斎藤 嘉朗

一般講演 がん免疫創薬における活用事例から考える、QSPモデリングをバイオマーカー探索に活かすための課題と可能性
アステラス製薬株式会社 中山 文史

一般講演 Circulating miRNAを活用した中枢神経作用薬開発におけるバイオマーカー戦略
第一三共株式会社 三日市 剛

一般講演 AIを用いたヒト予測精緻化への挑戦 ～AI創薬 DMPK編～
中外製薬株式会社 寺尾 公男

意見交換会 (10月26日) 感染対策の上で、演者紹介を兼ねた座談会を計画しています。

参加費：30,000円 (宿泊費込、会員会社限定)

初日のみ参加 (10,000円) , 2日目のみ参加 (12,000円) も可

会場：オークラアクティシティホテル浜松

JR浜松駅メイワン改札口東口より、徒歩3分 (Tel. 053-459-0111)

薬物動態談話会HP、会員専用サイトで受付：

参加申込み受付中。 <http://danwakai.jp/> 年間予定より

連絡先：薬物動態談話会 企画幹事 (帝人ファーマ株式会社)

景山 倫治 mi.kageyama@teijin.co.jp

